

環境審議会審議検討結果

出光興産株式会社徳山事業所 バイオマス発電所新設計画は、周南市新宮町にある同社事業所内遊休地に、木質ペレット及びパーム椰子殻（PKS : Palm Kernel Shell）のバイオマス発電所を新設する計画である。

環境審議会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議を行った。令和2年9月10日～25日において、当該計画に伴う環境保全対策について各委員からの意見を集約し、下記の臭気、水質、交通量への影響、粉じん爆発等に対する懸念、さらに、バイオマス燃料の安定供給や、運転開始10年以内を目途とした国産間伐材10%使用目標についての確認意見が提出された。

これらについて、令和2年10月6日出光興産株式会社より、下記の対策等の回答があり、第三号委員（学識経験者）への事前説明会での検討結果及び技術調査会審議検討結果を踏まえて、本環境保全対策は了承された（委員34名の内、28名了承と6名未回答）。

記

区分	協議内容	対策等
臭気	・PKSの臭気について	<ul style="list-style-type: none"> 荷揚げ時、事前に臭気チェックを行うよう関係者へ周知徹底する。 万が一、悪臭発生時は、運搬車への積み込み中断、中止。 海風、風速大きい場合はハンドリングを控える。
水質	・排水温度の水産物・漁業への影響について	・他装置関連の排水と合流し、夏場の排水温度は32.05℃であり、影響はない。
その他	・関連車両による市内中心部の交通量増加について	<ul style="list-style-type: none"> 運搬時間を朝夕の交通量多い時間帯を避けるように調整する。 1日あたり木質ペレット22台、PKS20台、燃焼灰2台、廃棄流動砂2台。
	・PKSの小火災に対する懸念	・長期保存による底部生物発酵に伴う発熱が原因のため、長期保存されない配慮と、購入先商社により定期的な温度管理を行い、小火災が発生する可能性は極めて低い。

	<ul style="list-style-type: none"> • PKS の粉じん爆発に対する懸念 	<ul style="list-style-type: none"> • 屋外貯蔵時に擁壁・ネットによる飛散防止、運搬時は飛散防止シート設置専用ダンプの使用、荷卸し時は受入ピットに集塵機の設置、貯蔵は密閉式、輸送は密閉式コンベアの使用により、粉じん爆発が発生する可能性は極めて低い。
	<ul style="list-style-type: none"> • 木質ペレットの粉じん爆発に対する懸念 	<ul style="list-style-type: none"> • コンベア部に個別に集塵機の設置や、静電気除去用接地設備の設置など、着火源の排除、駆動部への粉じん堆積、温度管理等に留意することにより、粉じん爆発が発生する可能性は極めて低い。
	<ul style="list-style-type: none"> • エネルギー源多様化の面からも必要な施策のひとつである。 	
	<ul style="list-style-type: none"> • バイオマス燃料の安定供給について 	<ul style="list-style-type: none"> • 安定供給について、商社及び現地サプライヤーに確認している。 • 木質ペレットは、ベトナムのアカシヤの木で、成長速度3年程度。植林から伐採までのサイクルを繰り返す。 • PKS は、インドネシアのパーム椰子の殻で、現地では廃棄物。
	<ul style="list-style-type: none"> • 運転開始10年以内を目途とした国産間伐材10%使用目標について 	<ul style="list-style-type: none"> • 国産間伐材（市有林、公園樹木、街路樹のチップや製材所の端材等）の調達に向けた取り組みは、今後、各地方自治体と協議する。
	<ul style="list-style-type: none"> • 資料の表現修正について 	<ul style="list-style-type: none"> • 指摘に応じて、図及び文章の修正・追加を行う。